別紙

第３回かながわともいきアート展受賞作品

１　大賞

審査委員・特別審査委員の合議により最も優秀な作品を選定



作　品　名　：何想う（なにおもう）
作　者　名　：桜狐（さくらきつね）
サ　イ　ズ　：縦 80ｃｍ×横 100ｃｍ
素　　材　：アクリル絵の具
制作年月　：２０２６年８月

【出品者による作品ＰＲ】

鹿の絵に、細かく花の絵を描きそこに金魚、OC の宇宙ネコを添えました。半立体になっているのも見どころです。花の模様を描く時、色がチェルシーの飴を思い出してしまったので皆様に同じく、チェルシーの呪いをかけておきます。

２　準大賞

審査委員・特別審査委員の合議により大賞に次いで優秀な作品を選定



作　品　名　：銀河鉄道の夜（ぎんがてつどうのよる）
作　者　名　：櫻井　航希（さくらい　こうき）
サ　イ　ズ　：縦 42ｃｍ×横 103ｃｍ×奥行 20cm、重さ 1kg
素　　材　：水性ペン／紙袋
制作年月　：２０２６年９月

【出品者による作品ＰＲ】

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の文章を紙袋に描きました。文字は肉付けされ縁取られたよう

な、作者によるオリジナルデザインです。いつもすさまじい集中力で、細かくびっしりと描き込んでいます。ここに描かれているのは物語のほんの一部。まだまだ続きがありますので、これからも新しい紙袋に描き続けていくことでしょう。

3　神奈川県知事賞

神奈川県知事が選定



作 品 名 ：オランウータンのかぞく
（おらんうーたんのかぞく）

作 者 名 ：オランゆうき（おらんゆうき）

サ イ ズ ：縦 124ｃｍ×横 134ｃｍ
×奥行 98cm、重さ 10kg

素　　材 ：油性ペン・水性ペン/
色画用紙・色ガムテープ・セロハンテープ・スティックのり・段ボール・紙筒・新聞紙・チラシ

制作年月：２０２６年９月

【出品者による作品ＰＲ】

色画用紙の中に新聞紙やチラシを入れて立体感のあるオランウータンや食べ物を作ったり、色々な色の色画用紙をちぎったり、くしゃくしゃにしてから貼ったり、楽しみながら作っていました。年中の時に動物園でオランウータンを見てから、オランウータンのとりこなので特徴を捉えた作品となっています。

4　審査委員特別賞

５名の審査委員・特別審査委員がそれぞれ１作品ずつ選定

作品名：JR バスポケモンエレベーターげんきさんおふろガス給湯器自動運転車動物ポテトまるホタテの手三角の蛾しっぽ自動販売機時計顔の足ピアス昔の時計泡のぶくぶく黒い虫チューリップ

（じぇいあーるばすぽけもんえれべーたーげんきさんおふろがすきゅうとうきじどううんてんくるまどうぶつぽてとまるほたてのてさんかくのがしっぽじどうはんばいきとけいかおのあしぴあすむかしのとけいあわのぶくぶくくろいむしちゅーりっぷ）

作 者 名 ：品川　太成（しながわ　たいせい）



サイズ：縦１３０ｃｍ×横１６０ｃｍ
素　材：布用ボールペン／
　　シーツ、キャンバス
制作年月：２０２６年９月
【中津川　浩章　委員選定】

【出品者による作品ＰＲ】
今年の夏からシャツやパンツにペンでドローイングを始めた品川さん。いつも迷わずさらさらと軽快に描いています。この作品では初めて 100 号のキャンバスに挑戦しました。シャツに描くようになめらかに描けるよう、キャンバスにシーツの布を張り布用ペンで描きました。タイトルには描かれているものが並んでいます。



作品名：嬉々の求人こんな人連れてきた
　　（ききのきゅうじんこんなひとつれてきた）
作者名：マドンナ（まどんな）
サイズ：縦 84ｃｍ×横 118ｃｍ
素　材：ボールペン、色鉛筆
制作年月：2024 年 11 月
【加藤　弘子　委員選定】

【出品者による作品ＰＲ】
マドンナさんは面白いことが大好きで、施設スタッフやメンバーを題材に 4 コママンガを描いています。本シリーズは、施設の求人になかなか良い人が見つからなかった際に困っているスタッフを楽しく描き続け、100 話近いストーリーがあります。他にも様々なシリーズを描いています。



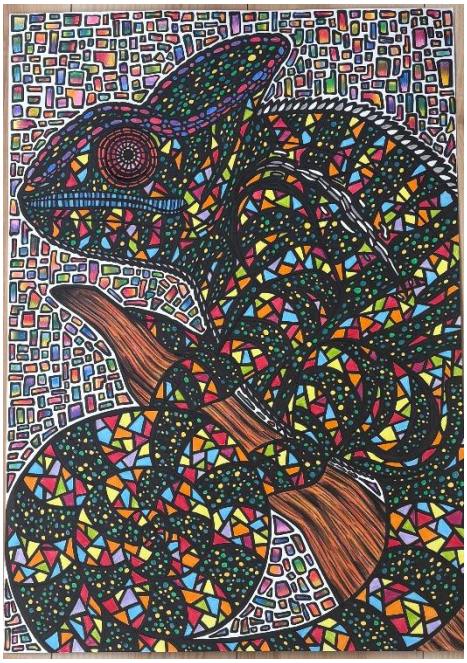
作品名：景色（けしき）
作者名：かわうち　れいな
サイズ：縦 22ｃｍ×横 27ｃｍ
素　　材：アクリル絵の具・メディウム・
　　密閉袋/キャンバス
制作年月：2026 年 6 月
【吉田　有紀　委員選定】

【出品者による作品ＰＲ】
　手を引く力で盛り上げ剤をのせ、児童発達支援所のリハビリ機器""スパイダー""でジャンプ！ふみふみして絵の具を広げました。色は「どっちがいい？」と聞いてまばたきが多い方を選びます。たくさんの出会いとできることを重ねて生まれた作品です。意味がなくとも、あなたと私がいてできたこの景色が美しく大切なのです。



作 品 名：木箱のうた
（きばこのうた）
作 者 名：ANNA（あんな）
サ イ ズ：縦 50ｃｍ×横 60ｃｍ
素　 材：アクリル絵の具
制作年月：2026 年 5 月
【小林　涼子　委員選定】

【出品者による作品ＰＲ】
そうめんの木箱の蓋の端にアクリル絵の具をつけ、ハンコのようにトントン。押すたびに生まれる線やかすれを楽しみながら制作しました。緑や黄色が幾重にも重なり、音楽も好きな作者が軽やかにリズミカルに制作。作品にもリズムを奏でています。身近なものから生まれる模様と、繰り返し押す楽しさが、画面いっぱいに広がる作品です。



作 品 名 ： 変色竜-万華鏡
（へんしょくりゅう-まんげきょう）
作 者 名 ： 杉本　李実（すぎもと　りみ）
サ イ ズ ： 縦 54ｃｍ×横 38ｃｍ
素　 材 ： 色鉛筆、マジックペン
制作年月： 2026 年 9 月
【セイン　カミュ　委員選定】

【出品者による作品ＰＲ】
今まで色々な絵を描いてきましたが、今回はカメレオンを描いてみたいと思いました。カメレオンは周りの環境に合わせて色を変え、様々な姿を見せます。その姿にこれからも自分自身

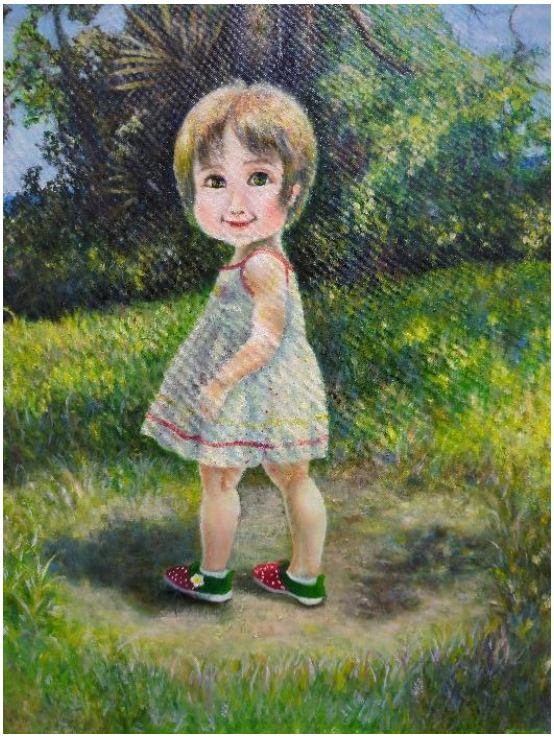
の変化や、環境にも恐れず色々な事に挑戦していきたいという思いを重ねました。色と形を自由に組み合わせ、変化していく自分の可能性を表現しました。

5　オーディエンス賞

来場者の投票数により選定。投票期間は 10 月 30 日から 11 月 4 日まで。受賞作品は 11 月 8 日の表彰式当日に発表します。

6　GREEN×EXPO 2027 賞

GREEN×EXPO 2027 の開催に向けて、花や緑など自然の魅力や、食や農業の大切さ、地球温暖化など環境問題に対する課題意識や自然との共生への想い等を感じさせる作品を県が選定



作　品　名　：森の妖精（もりのようせい）
作　者　名　：いくみ
サ　イ　ズ　：縦 53ｃｍ×横 45ｃｍ
素　　材　：ボード、油彩
制作年月　：2022 年 9 月

【出品者による作品ＰＲ】
小さい頃から、絵を描くのが好きでずっと描いていました。今は、油絵やクレヨン、色鉛筆で描いています。

7　ともいき賞

作品の魅力に加え、作家の作品に対する思いや作品への向き合い方などから、特に強いインパクトが感じられる 5 作品を、県と県内の障がい者アート団体関係者の合議により選定



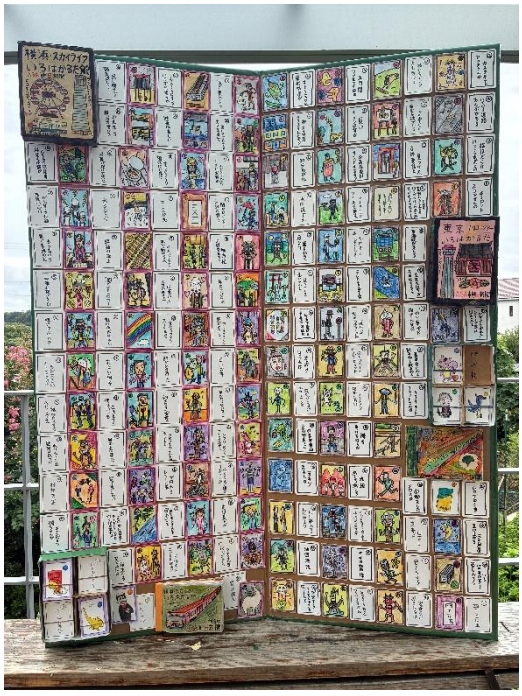
作　品　名　：運転手の野口さん
（うんてんしゅののぐちさん）
作　者　名　：隆　岩（りゅう　いわ）
サ　イ　ズ　：縦 15ｃｍ×横 15ｃｍ×奥行 15cm
重さ 5 kg
素　　材　：石、粘土、プラスチック、絵の

具

制作年月：2026年8月

【出品者による作品ＰＲ】

定年後に施設で運転手を始めた、野口さん。いつも通所先まで送迎してくれる、野口さん。朝は「おはよう」と言ってくれる、野口さん。帰りは「さようなら」と言ってくれる、野口さん。でも 2 年間働いた運転手を体調の理由で辞める事になった、野口さん。最後の日。通所先のみんなで寄せ書きを渡したら、声にならない程、泣いてくれた、野口さん。最後に握手してくれた、野口さん。共に生きてくれていたんだね。ありがとう、野口さん。



作　品　名　：横浜カルタ東京カルタ
（よこはまかるたとうきょうかるた）
作　者　名　：平本 吉胤（ひらもと よしつぐ）
サ　イ　ズ　：縦 146ｃｍ×横 116ｃｍ
素　　材　：ペン、色鉛筆、カード、画用紙、
ボール紙、ダンボール等
制作年月：2018年5月

【出品者による作品ＰＲ】

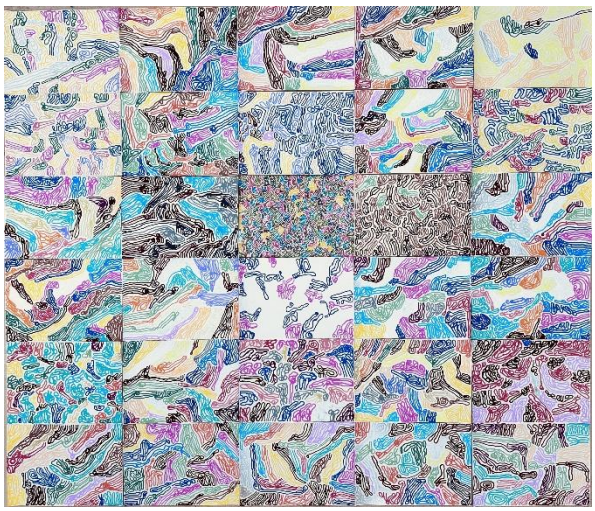
横浜と東京をテーマにしたカルタ。全て手描きで、読み札も絵札も作者自身が考えています。誰に頼まれたわけでもなく、昼休みやアート活動の時間を使ってコツコツ作り続け、いつの間にか面白い作品を生み出しています。定番のことわざや、どこかで聞いたことのあるフレーズ、なんだろう？とクスッと笑ってしまうようなものまで、アイデアは留まることを知りません。



作　品　名　：パニック夏祭り（ぱにっくなつまつり）
作　者　名　：井上 明花里（いのうえ あかり）
サ　イ　ズ　：縦 59ｃｍ×横 42ｃｍ
素　　材　：コピック、コピックアクレア、

色鉛筆、ケント紙
制作年月：2026年8月

【出品者による作品ＰＲ】
一年前､熱中症をきっかけにパニック症を発症しました｡その時の自分の症状を屋台の景品にしてみました｡パニックでも毎日楽しんでいる｡でも生きにくいし疲れちゃったなという気持ちを表現しました。制作中は動悸や息苦しさで辛かったですが、頑張って描き上げました。



作 品 名 ：無題（むだい）
作 者 名 ：押野 和樹（おしの かずき）
サ イ ズ ：縦126ｃｍ×横149ｃｍ
素　　材 ：ポスカ／画用紙
制作年月：2026年3月

【出品者による作品ＰＲ】
ポスカやマッキーなどのペンを使い、楽しそうにカラフルな作品を描いていく。迷路のようにも文字のようにも見えるうねうねぐねぐねした形は YES、だったり NO だったり、その時の気持ちで変化しているよう。この配置にはこの色という拘りの色があり、おっしーカラーは貫かれている。



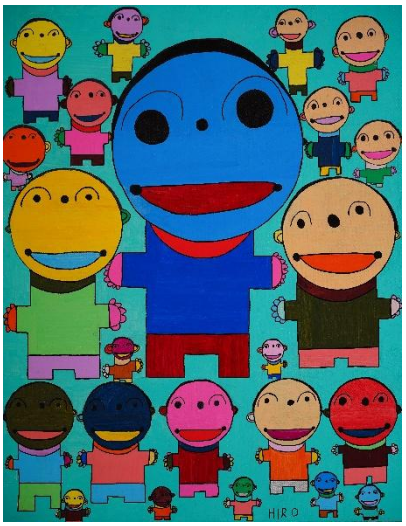
作 品 名 ：バームクーヘン（ばーむくーへん）
作 者 名 ：要田　宏平（ようだ　こうへい）
サ イ ズ ：縦84ｃｍ×横59ｃｍ
素　　材 ：色鉛筆／ボールペン／画用紙
制作年月：2017年1月

【出品者による作品ＰＲ】
1957年生まれ。誰よりも早く仕事場に現れ、ヨーダさんの愛称で親しまれているみんなの先輩的存在。紙のまわりにぐるぐると色を重ね、その形を木の年輪になぞらえて「バームクーヘン」と名付けた。ぐるぐるに生まれるわずかな切れ目は、『愛の入口』とのこと。

8　協賛企業賞

協力企業、協賛企業等が選定

【テレビ朝日福祉文化事業団賞】



作 品 名 ：フライパン人形（ふらいぱんにんぎょう）
作 者 名 ：HIRO（ひろ）
サ イ ズ ：縦 116ｃｍ×横 91ｃｍ
素　　材 ：ポスカ
制作年月 ：2006 年 7 月

【出品者による作品ＰＲ】
　オリジナルキャラクターの「フライパン人形」色も大きさも様々な仲間たちが、画面いっぱいに笑顔を広げています。一人ひとり違うからこそ楽しく、みんなが集まるともっと温かい。見る人の心を明るく元気にしてくれる、個性と優しさにあふれた作品です。

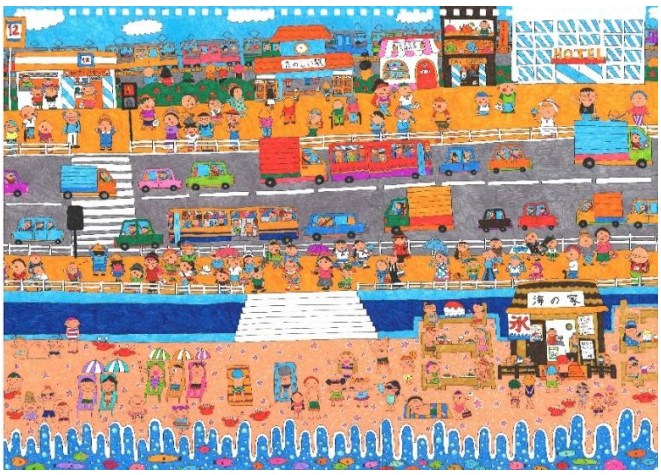
【日本生命賞】



作 品 名 ：たくさん作ってみた
　　（たくさんつくってみた）
作 者 名 ：ヒロ（ひろ）
サ イ ズ ：縦１ｃｍ×横 70ｃｍ×奥行 40cm
　　重さ 1 kg
素　　材 ：段ボール、色画用紙、マジック、クレヨン、糊
制作年月 ：2026 年 7 月

【出品者による作品ＰＲ】
　ヒロさんは手先がとても器用です。最近では iPhone をものさしなど何も使わずにハサミだけでスイスイと作っています。本物に忠実なものから最近ではだんだんとオリジナルな面白いものに変わってきました。よく見るとロケット型や顔があるものも?

【アイネット賞】



作　品　名　：海辺のたのしい街
　　（うみべのたのしいまち）
作　者　名　：アイリス（あいりす）
サ　イ　ズ　：縦 30ｃｍ×横 42ｃｍ
素　　材　：水性ペン／画用紙
制作年月：２０２６年９月

【出品者による作品ＰＲ】
10 センチ四方のメモ用紙に一人ずつ、表情豊かで色とりどりの人たちを描いていたので、「大きなスケッチブックにどうですか？」と尋ねると「描いてみます!」と即答。一人ひとりと対話しているように描きすすめた人々はスケッチブックいっぱいに広がり、街となった。表情も色もにぎやかで、たのしい会話が聞こえてくるようだ。きっとあなたも描かれているので、探してみてほしい。

【ありあけハーバー賞】



作　品　名　：Peace（ぴーす）
作　者　名　：KINO.（きの.）
サ　イ　ズ　：縦２８ｃｍ×横１５ｃｍ×奥行１５cm
　　重さ１kg
素　　材　：樹脂粘土、アクリル絵の具、シリーコーン剤、造花
制作年月：２０２６年７月

【出品者による作品ＰＲ】
平和への願いを笑顔になれるスイーツで表現したく、マカロンタワーを制作しました。色とりどりのマカロンを一つひとつ積み重ねる姿に、人々が支え合い、小さな幸せを重ねることで平和な未来につながってほしいという想いを込めています。甘く可愛らしいマカロンのように、世界に笑顔と優しさが広がることを願っています。

【久右衛門邸賞】



作　品　名　：わたしの見た花火
（わたしのみたはなび）
作　者　名　：古屋 貴里（ふるや きり）
サ　イ　ズ　：縦 40ｃｍ×横 54ｃｍ
素　　材　：色鉛筆、絵の具
制作年月：２０２５年１１月

【出品者による作品ＰＲ】
学校ではアートクラブに入り日々創作活動をしています。彼女の感性に身を任せ描かれるアートに魅了されます。多色を使った点字のようなアートと出展を迷いましたが、今回はこちらの作品を応募させて頂きました。力強い花火のフィナーレを観て頂けると幸いです。

【柴橋商会賞】



作　品　名　：抽象画のチワワ
（ちゅうしょうがのちわわ）
作　者　名　：宗圓　樹（そうえん　たつき）
サ　イ　ズ　：縦 56ｃｍ×横 44ｃｍ
素　　材　：水彩ペン、顔彩、墨
制作年月：2025 年 10 月

【出品者による作品ＰＲ】
おぼろげな空気の中から、立ち上がるチワワのシルエット。愛くるしい姿に抱きしめたくなります。犬はやっぱりいいな。

【ジャクエツプレイフル賞】



作　品　名　：どこへでも、何色にでも
（どこへでも、なにいろにでも）
作　者　名　：ベイ（べい）
サ　イ　ズ　：縦 65ｃｍ×横 65ｃｍ
素　　材　：ポスターカラー
制作年月：2022 年 9 月

【出品者による作品ＰＲ】
これから長い旅にでる猫の絵です。電車

の虹色は虹色が七色で色々な色があるように、行き先は自由にどこへでも行くことが出来ます。また、猫自身も七色の虹のようにこれからどんな色にでも、どんな自分にでもなれるというテーマの作品です。

【SOMPO 賞】



作　品　名　：楽園（らくえん）
作　者　名　：川嶋　栄美子（かわしま　えみこ）
サ　イ　ズ　：縦 63ｃｍ×横 75ｃｍ
素　　材　：油彩、キャンバス
制 作 年 月　：2026 年 7 月

【出品者による作品ＰＲ】
　北極と南極の生き物を一つのキャンバスに描く挑戦です。太陽はイヌイットの仮面。北極グマ、ウサギ、フクロウ、クジラ、ベルーガ、イッカク。南極からはザトウクジラ、ペンギン、アジサシ、クラゲ。独自の環境に適応し逞しく生き抜く生命の強さと美しさ。生命の尊さや地球への敬意を見る人に伝えたいです。

【パソナハートフル賞】



作　品　名　：シマウマ（しまうま）
作　者　名　：吉田　香奈（よしだ　かな）
サ　イ　ズ　：縦 53ｃｍ×横 65ｃｍ
素　　材　：ポスカ／キャンバス
制 作 年 月　：2026 年 5 月

【出品者による作品ＰＲ】
　シマウマ一体一体に物語があり、それぞれの個性を表現する手段としてシマの色を少しずつ変えています。色の表現にこだわったため、制作に半年以上費やしました。

【パルシステム神奈川賞】

作　品　名　：tomato（とまと）



作　者　名　：茶好（ちゃい）
サ　イ　ズ　：縦 150ｃｍ×横 41ｃｍ
素　　材　：油絵の具／キャンバス
制作年月：２０２５年３月

【出品者による作品ＰＲ】
極度の不眠症と統合失調症の時に描いた絵です。この時にはすでに体重も摂食障害レベル、体温調節もできなくなっていました。
”眠いけど寝れない”
”身体にいいものを食べないと”
”寝ないと栄養が失われる”と死ぬかも、、、。と食べ物を空想モチーフにして描いてみたかった油絵を描いてみました。

【三井不動産レジデンシャル横浜支店賞】



作　品　名　：雨の向こう側、光の割れ目（あめのむこうがわ、ひかりのわれめ）
作　者　名　：Honda . K （ほんだけー）
サ　イ　ズ　：縦 44ｃｍ×横 36ｃｍ
素　　材　：水彩、ペン
制作年月：2026 年 7 月

【出品者による作品ＰＲ】
雨が降っていても、きっと雲の向こう側はお日様が出ている。ほら、雲の割れ目から光が零れてきたでしょう？もうすぐ雨が止んでしまうのかな？雨の匂いもお日様の日差しも私は好きだな。

【横浜Ｆ・マリノス賞】

作　品　名　：はりねずみいかだ
作　者　名　：中原　燦ニ（なかはら　さんじ）



サ イ ズ ：縦 31ｃｍ×横 45ｃｍ×奥行 70cm
重さ２kg
素　　材 ：松の葉と枝、毛糸、竹、紙ねんど、スポンジ、松ぼっくり、糸
制作年月 ：2023 年 10 月

【出品者による作品ＰＲ】
はりねずみいかだに乗って、ぼうけんにいくよ。夜はこわい生き物におそわれないように、はりねずみくんがたすけてくれるよ。すうじはぼうけんの数をあらわしているよ。(筏の土台は門松を使用。松の葉や枝をはりねずみに見立てている。毛糸は敵と戦った跡になっている。)